

平成16年度 事業報告書

財団法人日本ハンドボール協会

1. 普及指導に関する事業

1) 普及関係

(1) 普及特別委員会ブロック会議

北海道	11月20日(土)	近畿	8月14日(土)
関東	12月7,8日(水)	中国	1月22日(土)
北信越	10月9日(土)	九州	12月26日(日)
東海	9月19日(日)		

- ・ブロックの少年チームの現状について、各県小学生大会参加チーム数 392 チーム
- ・チーム創設の方策について

(2) 小学生専門委員会

第1回小学生委員会 6月6日(日)事務局

- ・第15回全国小学生大会について
- ・J級指導者講習会について

第2回小学生専門委員会 7月29日(木)京田辺市

- ・全国ブロック会議について(日程の確認)
- ・講習会について(全国大会会場において開催)
- ・第16回全国小学生ハンドボール大会実施 男子27チーム 女子24チーム

(3) 中学生専門委員会

第1回中学生委員会 8月20日(金)ポートプラザ千葉

- ・各ブロック報告(チームの減少傾向)
- ・U-15大会の説明、開催協力依頼
- ・登録、10万人会について

第2回中学生専門委員会 12月25日(土)堺市家原大池体育館

- ・各地の現状報告(大会使用球について: ノンスリップボールの使用状況)
- ・JOC大会の将来展望
NTSとの連携: 出場選手選考、有望選手の発掘
- ・会期延長について(再検討)
- ・春の中学生大会開催について

(4) 小学生指導要領対策

第1回学校体育検討専門委員会 4月29日(木)事務局

- ・第7回研究集会実施案検討
- ・文部科学省への依頼について

・委託校選定について 10校

第7回ハンドボール研究集会 8月2,3日(火)山鹿市 110名

- ・授業発表
- ・実技研修と講義

小委員会 4月6日(火)、5月26日(水)、7月16日(金)事務局他

- ・ボールゲーム指導書作成

(5) ビーチハンドボール専門委員会

- 世界選手権アジア代表決定戦 7月26日(月)千葉県
 第5回全日本ビーチハンドボール大会 8月千葉県 男子9チーム、女子6チーム
 審判講習会、指導者研修会
 2004世界ビーチハンドボール選手権大会 11月27日(土)~30日(火)エジプト
- (6)マスターズ専門委員会
 第12回全国ハンドボールマスターズ大会 7月24日、25日(日)花巻市
 男子27チーム、女子12チーム

- (7)女性委員会
- ・各県協会女性担当者の配置
 - ・アンケートの実施

2) 指導関係

(1)指導委員会

- 第1回中央指導委員会 6月6日(日)代々木第二体育館
- ・C級コーチ養成講習会実施案検討
 - ・サマーキャンプ内容検討
 - ・J級、C級スポーツ指導員養成講習会の開催促進
- 第2回中央指導委員会 12月7日(火)事務局
- ・報告事項：全国小学生大会講習会、C級コーチ講習会、公認指導者養成システム
 - ・義務研修について
 - ・平成17年度公認コーチ養成講習会について
 - ・平成16年度全国競技別講師研修会開催について
- 平成16年度全国指導委員会 1月30日(日)事務局
- ・公認指導者養成システム変更に伴う資格移行について
 - ・公認指導者義務研修について
 - ・公認指導者養成講習の大学における専門教科免除について
 - ・IHFビデオ購入について
- 平成16年度C級コーチ養成講習会 6月21日(月)~26日(土)ブラザー体育館
 参加者 37名
- サマーキャンプU-12指導法講習会 8月10日(火)、11日(水)新潟県
 NTS,日本リーグ機構との合同事業 8月30日(月)、31日(火)東京都
- 平成16年度競技別講師全国研修会 2月19日(土)、20日(日)

3) 競技者育成技術委員会

(1)第1回委員会 7月17日(土)代々木体育館会議室

- ・緒方強化部長より、ナショナル各種別の大会成績、今後の予定について説明(女子ジュニア、男子ナショナル世界選手権出場)
- ・田中GMより、ドッジボール協会との連携
- ・蒲生NTS委員長より、NTS2004DVDについて実映像を交え説明
- ・角常務理事及び笹倉指導委員長より、ブロック少年チーム創設
- ・整備会議内容と日程、U-12用DVDの説明
- ・齊藤審判部長より、アジア女子選手権(広島)時のトップレフェリー研修会内容について

(2)第2回委員会 10月24日(日)八潮市立鶴ヶ曽根体育館

報告事項

- ・サマーキャンプは効果的であった
- ・平成17年度から公認指導者資格の更新：体育系学生の減免、2,3日の研修で取得
- ・J級登録者500名を越す
- ・U-16の日韓交流、日中韓交流、ジュニアアジア選手権(クエート優勝)でNTS、JOCカップ選出の選手が活躍

協議事項

- ・医科学専門委員会の分離について
- ・NTSの効果的活用=U-16の強化を図る
- ・JOCカップの際の講習会(研修会)開催

(3)第3回委員会 12月17日(金) 大阪キャッスルホテル会議室

- ・「スポーツによる地域興し」一本に絞り文科省の指定を受ける
- ・蒲生強化本部長より強化の方針を説明
ナショナル選手の選考基準の明確化
当面の課題として、北京オリンピックまでの具体案

(4)第4回委員会 12月25日(土) 堺第一ホテル

- ・NTSとレフリー、指導者研修会とのドッキング方法について
- ・競技別指導者養成講習会=トップインストラクター養成の実施
- ・県NTSの実働を図る
- ・各カテゴリー(10カテゴリー)の強化合宿のオープン化(公開、活用)を図る

(5)第5回委員会 3月19日(土) 駒沢体育館会議室

- ・強化資金調達のためのDVD作成について
- ・指導教本は年代別の指導書として平成17年度完成を目途とする
- ・平成17年度のNTSトレーニングのうち、指導者、審判員研修との合同開催を3ブロックで実施する

2. 競技運営に関する事業

1) 主催大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
4月	第1回東アジア選手権(男女)	4/13-17	韓国	男子:1;斗山 2;ホダ 3;慶熙大学 4;北京 女子:1;三陟市庁 2;大邱市庁 3;広島メイト 4;北京
6月	第8回日韓スポーツ交流(派遣/女子)	6/29-7/5	韓国	
7月	第8回アジア女子ジュニア選手権	7/1-8	タイ	1;韓国 2;日本 3;中国
	日本リーグ男子オールスター戦 全日本女子アジア選手権 壮行試合	7/11	山鹿市総合体育館	
	第24回全国クラブ選手権・西地区	7/16-18	高知県民体育館 他	男子:1;下松ク 2;ホノフエロース 3;中央ク 女子:1;熊本ク 2;風見鶏ク 3;Team 和
	第24回全国クラブ選手権・東地区	7/17-19	福島県本宮町総合体育館他	男子:1;小金ク 2;RAZE 3;野辺地ク 紫嵐会 女子:1;氷見ク 2;ホジク 3;YAM、福島ク
	第10回アジア女子選手権 第9回アジア国際大会	7/23-25	広島市東区スポーツセンター	1;日本 2;中国 3;韓国 4;チャイニーズタイペイ
	第12回全日本マスターズ大会	7/23-25	花巻市総合体育館他	男子:1;埼玉フェニックス 2;WAKUNAGA 3;ガンバ花 女子:1; 風見鶏ファミリーズ 2;フェニクス 3;シエン
	第1回アジア女子ビーチ選手権	7/26	富浦町原岡海岸	1;日本 2;中国香港
第17回全国小学生大会	7/30-8/1	京田辺市中央体育館他	男子:1;神森小 2;中央小 3;小島小、松井ヶ丘小 女子:1;神森小 2;仏生寺少年団 3;当尾小、三佐ハト	
8月	高松宮記念杯第55回全日本高校選手権大会	8/1-7	周南市総合スポーツセンター他	男子:1;伊奈 2;瓊浦 3;下松、氷見 女子:1;小松市立 2;桜花学園 3;昭和学院、熊本国府
	第31回全国高等専門学校選手権大会	8/7-8	愛知県体育館	1;豊田高専 2;大阪府立高専 3;高知高専、八代高専
	西日本学生選手権大会	8/10-13	舞洲アリーナ	男子:1;中部大 2;福岡大 3;桃山学院大、大阪体育大 女子:1;大阪教育大 2;武庫川女子大 3;福教大、福岡大
	第9回女子ジャパンオープン トナメント	8/11-13	津山工業高等学校体育館他	1;HC 岡山 2;シャトルヘルトホルツ 3;香川銀行
	第9回男子ジャパンオープン トナメント	8/14-17	総社市スポーツセンター 体育館他	1;HC 岡山 2;大同クラブ 3;那覇西クラブ
	フェリクラブ第12回東日本 小学生大会	8/14-16	東根市民体育館	男子:1;水海道 HC 2;東根 HS 少年団 3;富岡イグリス 女子:1;富岡元ツツ 2;東根 HS 少年団 3;本宮 HS 少年
	東日本男子学生選手権 大会	8/15-18	函館市民体育館 他	男子:A;明治大 B;東北福祉大 C;仙台大 D;東海大 女子:a;東北福祉大 b;仙台大
	第33回全国中学校大会	8/21-24	千葉総合スポーツセンター 体育館他	男子:1;南部中 2;東中 3;御幸山中、けやき台中 女子:1;上野芝中 2;神森中 3;岐陽中、大増中

	第12回中日韓シニア交流競技大会	8/23-29	中国(長春)	
	第8回日韓シニア交流(派遣/女子)	8/25-30	韓国・ソウル	
9月	第6回全日本ビートボール選手権大会	9/4,5	千葉県富浦町原岡海岸	男子:1;初心者マーク2;美少年100%3;サバ de 富浦 女子:1;あぶらおおめ2;藤乃
	第9回アジア男子シニア選手権	9/7-18	インド	1;ウエト 2;韓国 3;イラン 4;日本
	高松宮記念杯第45回全日本実業団選手権大会	9/8-12	高知県民体育館他	男子:1;大崎電気 2;湧永製薬 3;大同特殊鋼 女子:1;広島メイプルズ 2;私ON 3;北國銀行
	第29回日本リーグ	9/18-05/3/6	各地	
10月	第59回国民体育大会	10/23-28	埼玉県八潮市鶴ヶ首根体育館他	成年男子:1;埼玉県 2;愛知県 3;広島県 4;三重県 成年女子:1;熊本県 2;石川県 3;広島県 4;山梨県 少年男子:1;長崎県 2;茨城県 3;香川県 4;富山県 少年女子:1;石川県 2;熊本県 3;愛知県 4;三重県
11月	高松宮記念杯男子第47回女子第40回全日本学生選手権大会	11/24-28	沖縄県浦添市民体育館他	男子:1;筑波大 2;日本体育大 3;日本大、早稲田大 女子:1;筑波大 2;東京女子体育大 3;大阪教育大、武庫川女子大
	第2回ビーチハンドボール世界選手権大会	11/26-30	エジプト	女子 1;ロシア 2;トルコ 3;イタリア 4;カナダ (日本は7位)
12月	第56回全日本総合選手権大会	12/14-18	大阪市中央体育館	男子:1;湧永製薬 2;大崎電気 3;私ON 4;大同特殊鋼 女子:1;広島メイプルズ 2;私ON 3;北國銀行、ソ-
	第13回JOCシニアリフトアップ	12/25-28	大阪府堺市家原大池体育館他	男子:1;愛知県 2;富山県 3;奈良県、大阪府 女子:1;大分県 2;埼玉県 3;愛知県、熊本県
	第17回世界大学男子選手権	12/28-1/4	ロシア(チェリキンスク)	1;ロシア 2;ウクライナ 3;カナダ 4;日本
1月	第19回男子世界選手権	1/23-2/6	チュニジア	1;スペイン 2;カナダ 3;フランス 4;チュニジア (日本は16位)
2月	全日本実業団チャレンジ2005	2/11-13	春野総合運動公園体育館他	1;八光自動車工業 2;高知クラブ 3;金沢市役所
3月	第29回日本リーグプレーオフ	3/19-20	東京都駒沢体育館	男子:1;大崎電気 2;大同特殊鋼 3;湧永製薬 4;私ON 女子:1;広島メイプルズ 2;私ON 3;ソニセミコンダクタ九州
	第28回全国高等選抜大会	3/24-29	常総運動公園総合体育館	男子:1;興南高 2;小林工業高 3;北陸高、浦和学院高 女子:1;陽明高 2;四天王寺高 3;吉井高、文大杉並

2) その他の事業

- ・ 平成16年度チーム・選手・チーム役員登録業務
- ・ 競技運営連絡協議会の開催(東京)
- ・ 国民体育大会運営の簡素化・効率化への取り組み
- ・ 国民体育大会正規視察(千葉県)
- ・ 競技用具(ボール・ゴール・ゴールネット)検定の実施
- ・ 大会開催マニュアル平成17・18年度版の発行準備
- ・ 全国競技運営委員会立ち上げ準備
- ・ 全国春の中学生大会発足整備

3. 国際に関する事業

1) 日本ナショナルチーム国際大会関連

- ・ 第1回東アジアクラブ選手権大会(男女 4/13~4/17 韓国・城南)の派遣連絡
- ・ 第8回日韓スポーツ交流大会(女子 6/29~7/5 韓国・ソウル)の派遣連絡
- ・ 第8回アジア女子ジュニア選手権大会(7/1~7/5 タイ)の派遣連絡
- ・ 第10回アジア女子選手権大会(7/23~7/25 広島)の受け入れに関する連絡及び大会支援
- ・ 第1回アジア女子ビーチ選手権大会(7/26 千葉)の受け入れに関する連絡及び大会支援
- ・ 第12回日韓中ジュニア交流大会(女子 8/25~8/30 中国・長春)の派遣連絡
- ・ 第8回日韓スポーツ交流大会(女子 8/25~8/30 沖縄 男子 8/25~8/30 インチョン)受け入れ・派遣に関する連絡
- ・ 第9回アジア男子ジュニア選手権大会(9/7~9/18 インド)の派遣連絡
- ・ 第2回ビーチ世界選手権大会(11/26~11/30 エジプト)の派遣連絡
- ・ 第17回世界学生選手権大会(男子(女子は直前中止)12/28~1/04 ロシア)の派遣連絡
- ・ 第19回世界選手権大会(男子 1/23~2/06 チュニジア)及び事前合宿の派遣連絡と国際委員(平賀)の派遣

2) 国際会議に関する事業

- ・ IHF 関係
 - * アテネオリンピック(8/10~8/20)出席に関する連絡 渡邊会長(技術役員)緒方強化本部長 玉村強化委員
 - * IHF 理事会(9/23~9/25 クウェート)出席に関する連絡 渡邊会長
 - * IHF 総会(12/1~12/5 エジプト)出席に関する連絡 渡邊会長 市原副会長、栗山 SMD
 - * IHF 医事委員会(5/24~5/27 ノルウェー)出席に関する連絡 西山医事委員
 - * コーチ・レフェリーシンポジウムに関する連絡
 - * 審判登録・派遣に関する連絡
 - * IHF 総会議題・議事録の翻訳
 - * 大会要項等の翻訳
- ・ AHF 関係
 - * AHF 理事会(5/25 クウェート)欠席に関する連絡 渡邊会長
 - * AHF 総会(12/3 エジプト)出席に関する連絡 渡邊会長 市原副会長、栗山 SMD
 - * 審判登録・派遣・レフェリーコースに関する連絡
 - * AHF 会議議題・議事録の翻訳
- ・ EAHF 関係
 - * EAHF 理事会(4/15 ソウル)に関する連絡 山下・市原両副会長
 - * 審判派遣に関する連絡

3) その他の事業

- ・ 国際移籍に関する連絡(移動証明書の発行など)
- ・ 海外青年協力隊との連絡
- ・ 海外大会情報の翻訳・掲示
- ・ その他 モンゴル連盟役員1名に関する国内外連絡

4. 競技規則（審判）に関する事業

1) 平成16年度登録公認審判員数 2,446名

国際12名、A級292名、B級531名、C級658名、D級953名

2) 公認審判員上級審査結果

A級審査は、西日本学生選手権大会(大阪府)をモデルに、B級は北海道地区(函館市)・北地区(福島市)・東地区(甲府市)・中地区(堺市)・西地区(福岡市)の5地区にて実施。結果は下記の通り。

	A 級	B 級
審査申請者	25名	56名
書類不備者	0名	5名
欠席者	6名	5名
筆記不合格者	3名	16名
実技不合格者	4名	9名
体力不合格者	0名	
合格者数	13名	29名

レフェリーコース受験状況

前期 期日 8月16日(月)～18日(水)

モデル 長浜ドリーム大会 高校チーム男女45チーム

場所 滋賀県 長浜市

担当者 川島克之、越田義昭、早川清孝

後期 期日 3月25日(金)～27日(日)

モデル 関東学生男子1部チーム強化試合

場所 国土館大学

担当者 川島克之、越田義昭、島田房二

結果は下記の通り。

申請者数	9名
欠席者数	0名
B級認定者	7名
C級認定者	2名

実業団レフェリーコース受験状況

期日 2月11日(金)高知市にて実施

モデル 実業団チャレンジカップ

結果は下記の通り。

申請者数	2名
欠席者数	2名
B級認定者	0名
C級認定者	0名

直前に審査予定者の欠席の連絡あり。

3) 講習会・研修会及び審判員評価

講習会

対象者 日本リーグ担当レフェリー・一般希望者

内容 教本に基づいた講義

体力テスト(クーパー走)・VTRテスト

・北海道地区日本リーグ講習会 2月13日(日) 札幌市

・東北地区	〃	3月6日(日)	盛岡市
・関東地区	〃	2月20日(日)	世田谷区
・北信越地区	〃	2月5日(土)	柏崎市
・東海地区	〃	3月13日(日)	名古屋市
・近畿地区	〃	3月27日(日)	神戸市
・四国地区	〃	3月28日(月)	松山市
・九州地区	〃	3月5日(土)	佐世保市

トップレフェリー研修会

期 日	7月24日(土)・25日(日)		
会 場	広島市 東区スポーツセンター・東急インホール		
対 象	平成16年度全国大会担当レフェリー・日本リーグ担当レフェリー		
参加者	審判審査指導専門委員を含め130名参加		
モデル	アジア女子選手権兼世界女子選手権アジア予選大会		
内 容	座学 ・グループ別ディスカッション、パネルディスカッション パネラー(櫻塚正一、藤本 元、中山 剛) ・パッシブに関するIHF映像での講義 実技 国際大会レフェリーチェック 視聴覚研究 国際大会VTR映像を基に		

審判員評価

- ・全国高等学校総合選手権大会参加審判員評価(周南市) 審判審査指導専門委員3名派遣
- ・全日本総合選手権大会審判員評価(大阪市) 審判審査指導専門委員6名派遣

4) 会 議

・審判審査指導専門委員会

期 日	9月25日(土)、26日(日)
場 所	山梨県忍野村
内 容	A・B級受験状況及び審査結果の検討 レフェリーコース前期の受験状況報告 総合選手権大会審判員のノミネート 若手審判員の教育内容検討

期 日	1月28日(金)
場 所	国立スポーツ科学センター A級審査保留者の検収結果の検討及びA級最終審査 平成16年度A・B級受験申請者書類審査 審判部合同会議準備

・審判部合同会議

期 日	1月29日(土)・30日(日)
場 所	国立スポーツ科学センター
参加者	審判部長・競技運営部長・審判審査指導専門委員・各ブロック審判部長・各連盟審判部長・競技規則研究専門委員長・審判国際専門委員長・日本リーグ審判部長・審判総務専門委員長及び審判総務専門委員
内 容	・平成16年度諸活動の総括 ・平成17年度活動の検討 ・競技規則改正点の解説 ・審判部運営上の問題検討

- ・ I H F の身体接触に関する映像解説
- ・ 全国審判部長会議
 - 期 日 1月30日(日)
 - 場 所 国立スポーツ科学センター
 - 参加者 審判部長・審判審査指導専門委員・各専門委員会委員長
 - 内 容
 - ・ 新競技規則の実施時期及び改正点の解説
 - ・ I H F の身体的接触に関する映像解説
 - ・ 審判員登録に関する手続き確認
 - ・ 上級審判審査受験者に対する手続き確認
 - ・ 日本協会グッズに関する指導

5) 審判員の海外派遣実績

- ・ I H F 登録審判員
 - 浜田浩和・小笠原久郎
 - 仲田 稔・植村 彰
 - 家永昌樹・福島亮一
 - (武智誠治・松原誠起)
- ・ A H F 登録審判員
 - 藤井俊朗・大熨嘉彦
 - 永春文義・安田 寛
- ・ 第11回男子アジア大会
 - 期 日
 - 場 所 ドーハ(カタール)
 - 派遣審判 仲田 稔・植村 彰 A H F 指名
- ・ 第1回東アジア男子クラブ選手権
 - 期 日
 - 場 所 ソンナム(韓国)
 - 派遣審判 藤井俊朗・大熨嘉彦 帯同
- ・ 第8回アジア女子ジュニア選手権
 - 期 日
 - 場 所 バンコク(タイ)
 - 派遣審判 藤井俊朗・大熨嘉彦 A H F 指名
- ・ 世界学生選手権
 - 期 日
 - 場 所 チェリャピンスク(ロシア)
 - 派遣審判 家永昌樹・福島亮一 帯同

6) その他

- ・ 全日本大会担当審判員編成の反省と改善
各都道府県からのNo.1推薦者が自動的に全国大会にノミネートされることに対する甘えの指導。
- ・ 平成17年8月1日より、新競技規則実施に伴う伝達及び解説の徹底。
販売を開始したが、公認審判員全員が携帯する状態になっていない。購入の徹底を図る。
- ・ レフェリーのオフィシャルユニホームの購入を促進する。
- ・ 審判審査指導専門委員に出来る限り全国の審判状態を観察する機会を持たせるため、全国大会へマッチバイザーとして編成できないか検討中である。経済的な負担をどこが持つかが問題点。

5. 競技力向上（強化）に関する事業

1) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
女子 U-19	第 8 回アジア女子ジュニア選手権兼'05 世界選手権(チエコ)予選	6/28-7/9	タイ・バンコック	1;韓国 2;日本 3;中国 4;タイ 5;タイ 6;カザフスタン 世界選手権出場権獲得
女子 U-16	第 7 回女子日韓姉妹交流(派遣・受入)	6/30-7/5 8/24-30	韓国・仁川 沖縄	強化合同合宿・親善試合 々
女子 N	第 10 回アジア選手権兼'05 世界選手権(ロシア)予選	7/22-25	広島県	1;日本 2;中国 3;韓国 4;タイ 5;タイ 世界選手権出場権獲得
男子 N	欧州遠征 (アルアラム大会)	8/1-9	エジプト・カイロ	フランス・ロシア・エジプト・日本 4ヶ国国際大会
男子 U-16	韓国遠征	8/25-30	韓国・仁川	強化合同合宿・親善試合
男子 U-19	第 9 回アジア男子ジュニア選手権兼'05 世界選手権(チエコ)予選	9/6-19	インド・ハイデラバッド	1;クウェート 2;韓国 3;イラン 4;日本 5;カタール 6;オマーン 7;UAE 8;タイ 9;中国 10;インド 11;パングラディシュ
男子 U-23	第 17 回男子世界学生選手権	12/19-1/7	ロシア・チェルノスク	1;ロシア 2;ウクライナ 3;ロシア 4;日本 5;トルコ 6;中国
男子 N	第 19 回男子世界選手権	1/20-2/8	チュニジア	1;スペイン 2;ロシア 3;フランス 4;チュニジア 5;セルビア 6;ギリシャ 7;ルウェー 8;ロシア 9;ドイツ 10;チエコ 11;スウェーデン 12;スペイン 13;デンマーク 14;エジプト 15;アイスランド 16;日本 17;アルジェリア 18;アルゼンチン 19;ブラジル 20;アンゴラ 21;カタール 22;クウェート 23;カナダ 24;オーストラリア

2) 海外強化合宿

男子 N	欧州遠征	8/1-9	エジプト・カイロ	アラブ国際大会 フランス・ロシア・エジプト4ヶ国
------	------	-------	----------	-----------------------------

3) 強化合宿（男女ナショナル）

チーム名	日程	場所・その他
男子ナショナル	4/19,20	JISS メディカルチェック(役員 3 選手 21)
	5/21-28	埼玉県・大崎電気(役員 6 選手 23)
	6/20-26	埼玉県・大崎電気(役員 5 選手 22)
	7/11-17	熊本県・本田技研(役員 5 選手 18)
	7/25-30	岩手県・花巻市体育館(役員 5 選手 18)
	12/24-28	埼玉県・大崎電気(役員 4 選手 18)
女子ナショナル	1/6-10	埼玉県・大崎電気(役員 4 選手 18)
	4/19-23	愛知県・ブラザー工業(役員 3 選手 26)
	5/6-31	熊本県・オムロン(役員 4 選手 24)
	6/10-30	熊本県・オムロン(役員 4 選手 18)
	7/3-19	熊本県・オムロン(役員 8 選手 16)

4) 強化合宿 (男女ジュニア)

チーム名	日程	場所・その他
男子U - 23	5/23-30	埼玉県・大崎電気(役員 5 選手 16)
	12/3-5	埼玉県・大崎電気(役員 2 選手 20)
女子U - 23	7/2-6	熊本県・オムロン(役員 2 選手 17)
	11/28-12/2	沖縄県・東風平町体育館(役員 2 選手 16)
男子U - 19	5/17-21	埼玉県・大崎電気(役員 5 選手 26)
	7/1-4	埼玉県・大崎電気(役員 5 選手 19)
	3/9-13	愛知県・大同特殊鋼(役員 3 選手 18)
	9/3-5	愛知県・大同特殊鋼(役員 5 選手 16) (男子 Jr.アジア選手権直前合宿)
女子U - 19	5/19-23	石川県・北國銀行(役員 6 選手 23)
	6/6-12	石川県・北國銀行(役員 6 選手 16)
	6/25-27	石川県・北國銀行(役員 5 選手 16) (女子 Jr.アジア選手権直前合宿)
女子 U-23,19	1/28-31	熊本県・オムロン(役員 8 選手 29)
	2/19-24	石川県・北國銀行他(役員 8 選手 29)
女子U - 16	4/28-5/2	埼玉県・大崎電気(役員 3 選手 24)
	2/10-13	埼玉県・大崎電気(役員 2 選手 18)

5) ドクター・トレーナー帯同 (遠征・大会)

遠征・大会名	日程	場所	ドクター	トレーナー	チーム
代 8 回アジア女子ジュニア選手権	6/28-7/9	タイ・バンコック	甲斐功一	陣上修一	女子 U19
第 8 回女子日韓スポーツ交流派遣・受入	6/30-7/5 8/24-30	韓国・仁川 沖縄県		西林由香 滝澤幸一	女子 U16
第 10 回女子アジア選手権	7/22-25	広島県	坂口 満	皆川直哉	女子 N
男子ヨーロッパ欧州遠征 (アルアラム国際大会)	8/1-9	エジプト・カイロ	沖本信和	赤尾和彦	男子 N
韓国遠征	8/25-30	韓国・仁川		木下幸司	男子 U16
第 9 回アジア男子ジュニア選手権	9/6-19	インド・バンガロール	有田 忍	尾中祐二	男子 U-19
第 17 回男子世界学生選手権	12/19-1/7	ロシア・チェレブンスク	沖本信和	永井正之	男子 U-23
第 19 回男子世界選手権 事前フランス合宿	1/20-2/8 1/12-20	フランス	有田 忍	赤尾和彦	男子 N

6) NTS (ナショナルトレーニングシステム)

・ブロックトレーニング (9ブロック) の実施

内関東、北信越 2 地区は、JHL サマーキャンプとして拡大実施

小・中・高それぞれ男女 15 名 + 約 1,000 名

・センタートレーニングの実施

中・高男女各 50 名 U16、U19 代表選手の選考を同時に行った。

7) ジュニアオリンピックカップ大会

男子優勝：愛知選抜 女子優勝：大分選抜

・ オリンピック有望選手の選考

男子 信太 弘樹（茨城・麻生町立麻生中学校）

 " 今元 勇輝（沖縄・沖縄市立小祿中学校）

女子 宇野 歩（奈良・生駒市立大瀬中学校）

8) 女子ジュニア世界選手権出場権獲得

第 8 回アジア女子ジュニア選手権（タイ・バンコック）において、韓国に次いで同大会初めて 2 位となり、3 大会連続世界選手権の出場権を獲得した。

9) 女子代表世界選手権出場権獲得

第 10 回アジア女子選手権（広島）において、初優勝し世界選手権の出場権を獲得した。

10) 男子代表世界選手権出場（チュニジア）

第 19 回男子世界選手権（チュニジア）に出場し、強豪揃いの予選 C グループで 4 位となり、惜しくも決勝ラウンドに進出できなかったが、優勝国スペイン 2 位クロアチアと善戦したことは大きな収穫と評価できる。

11) 分析活動

第 19 回男子世界選手権大会における他国のゲーム分析を行い、強化委員会資料として作成予定（平成 17 年 4 月完成予定）。

6. 機関誌発行に関する事業

1) 年 10 回の発行を行った。

1 ヶ月発行部数 3,600 部

（年 3 回登録中学校へ無料配布 約 1,000 部）

（年 1 回登録小学校へ無料配布 約 150 部）

2) 広告協賛 14 社

3) 機関誌の内容の検討、情報の公開に努力した。

協会基本方針の掲載 協会便り（各理事会、委員会報告）

各連盟便り N T S 情報

I H F ニュース スコアルーム

企画記事を増やした がんばれ 10 万人会情報

技術分析 大会報告

4) 機関誌とインターネットの連携を検討した。

7. 企画・広報に関する事業

1) 企画

「プロジェクト21」の実施に取り組み北京オリンピック出場に向けてのスケジュール調整を行った。

強化本部、総務本部との連携を行い、強化資金捻出の検討を行った（登録料、強化資金）。日本リーグと連携を行い、GM研修会、監督研修会、他競技のトップリーグ大会の視察を行った。

2) 広報

広報年間スケジュールに基づき活動を行った。

・定期記者発表　・臨時記者発表　・プレスリリース　・ナショナルチームのPR
インターネット発信に力を入れ、HP内容の充実を図り、訪問数が急増した。

テレビ(中央、ローカル局)・ラジオ番組、新聞、雑誌取材の調整を行った。

東京記者クラブとの打合せ連絡会を行い、意見交換を行った。

協会内広報担当を明確化した。

3) インターネット

日本協会ホームページの充実を図った。

- ・内容の充実に力を入れた。　・各委員会情報、トピックス等を掲載する努力をした。
- ・結果速報のスピード化を図った。

機関誌との連携、分担の検討を行った。

HP訪問数が継続的にアップしている。

8. 財務・会計に関する事業

1) 平成16年度の財政収支状況は、アテネオリンピック強化特別プロジェクト最終章のアジア予選大会を残念な結果で終えたことにより、大口の協賛金の収入が見込めず、協会運営の予算執行にあたっては相当に厳しい状態であった。

2) 一般会計の収入としては、当初の予算に対し、登録人口増による一般登録料収入、寄付金、雑収入が増額となった。しかし、予定した協賛金、賛助金(10万人会)収入が低かったものの日本リーグからの特別積み立て等の繰り入れがあり決算としては増額となった。

3) 一般会計の支出については、緊縮財政下の節約徹底により次期繰越額が倍額となった。

4) 特別会計については、ほぼ予算内で終始することができた。

5) 会計処理の厳正化については公認会計士・税理士・会計担当者の連携を密にして毎月の収支を的確に捉え、チェック体制の強化を図った。

9. 日本リーグに関する事業

- 1) 日本リーグ年間スケジュールを検討し、調整を行った。
- 2) 観客動員対策に取り組み、成果を上げた。
- 3) プレーオフ男子の形式を変更し、充実を図った。
- 4) チームにGMの設置を推進し、GM研修会を開き主旨の徹底を図った。
- 5) リーグ活性化に取り組んだ
 - オーナー懇談会、部長会(GM会)、監督会議の充実を図った。
 - マーケティング委員会を設置した。
 - 開催権料の改訂を検討した。
 - 女子リーグの新規参入チームの実現に取り組んだ。
 - 第30回大会の記念事業の検討を行った。
 - インターネット発信の充実を図った。
 - サイン会等ファンサービスの充実を図り、成果をあげた。
- 6) 「トップリーグ支援助成金」の事業を推進した。
 - オールスター戦を開催した(山鹿市)。
 - チャレンジリーグを開催した(リーグ女子4チームと学生チーム)。
 - 第1回東アジアクラブ選手権(韓国)に参加した。
 - N T S活動に協力連携した(サマーキャンプ他)
- 7) 他競技の大会運営の視察を行った。
- 8) 記者クラブとの打合連絡会、記者発表、プレスリリース等広報活動を行った。
- 9) 日本トップリーグ連絡協議会の設立に参加した。

10. 総務に関する事業

- 1) 定例の諸会議の開催について、開催場所の選択や人員・規模等を勘案し会議費や日程の効率的運営の推進を図った。

評議員会 6月19日(東京) 2月5日(東京)

理事会 6月5日(東京) 11月13日(東京) 2月19日(東京) 3月19日(東京)

常務理事会 4月10日(東京) 5月15日(東京) 6月5日(東京) 7月25日(広島)

9月4日(東京) 10月24日(埼玉) 11月13日(東京) 12月18日(大阪)

1月22日(東京) 2月19日(東京) 3月19日(東京)

全国理事長会議

10月23日、埼玉県八潮市にて埼玉国体開始式前日に開催。日本協会からの現状報告、10万人会勧誘事例発表、平成15年度日本協会表彰の後、6グループに分かれ(1)国体改革と(2)登録制度と登録料の改定についてグループディスカッションを行い、活発な議論が行われた。

事務取扱責任者会議 2月20日(東京)

- ・情報伝達の迅速化、通信経費の節減のためメール配信が出来るように要請した。

- 2) 協会要覧(規定集)の発行

- ・各規程の見直しを行い、協会要覧(規定集)としてまとめられるようにした。
(平成17年4月発行予定)

- 3) 環境問題

- ・スポーツと環境の問題について着手した。大会において会場にポスターやバナーの掲示をし、環境問題の啓蒙に努めた。ゴミ分別収集の徹底、紙コップのリユースなどを行った。
- ・裏紙利用やメール多用により、事務局内の紙節減に努めた。

- 4) 事務局内のインフラ整備を行った。多機能FAX機を導入し、従来FAX送信した書類をpdfファイルによるメール送信に切り替え、通信費を節約した。

- ・事務局業務の効率化を進めるため、個別のメールアドレスを取得しメール連絡を多用することでペーパーレス化に努め、経費節約をした。
- ・地方協会、事務局員間の情報の共有化を図るために、非公開ホームページを作成し、情報伝達の迅速化に努めた。

11. 「がんばれハンドボール10万人会」サポート会に関する事業

1) 平成16年度サポート会員総数(平成17年3月31日現在)

特別会員	11名
グランド会員	222名
ファミリー会員	149名
ジュニア会員	15名
都道府県ファミリー会員	255名
都道府県グループ会員	2,016名
総数	2,668名

2) 推進活動

- (1) 都道府県ファミリー会員・グループ会員入会の促進
- (2) 大会会場における会員の優先席設定

3) 事務局

- (1) 毎月の入会・更新作業
- (2) 打合会の開催・事務処理

12. マーケティングに関する事業

1) ムササビジャパンプラクティスシャツの販売

- ・モルテン社と販売委託契約を行い、同社の販売網を活用し在庫をほぼ完売した。

2) 今後のマーケティング施策を検討

- ・スポーツマーケティングの原点に立ち返り、ハンドボールにおける商品とは何か、協賛企業がNFに求めるものは何かなどを検討した。
- ・選手肖像権について情報収集を行った。
- ・物品販売の外部業者委託について検討した。